

イベントで火気器具を使用される方へ

火災予防のチェックポイント

自治会のお祭り等、各種イベントで火気を使用する模擬店を出店する場合は以下のチェック項目に沿って火災予防に心掛けてください

●LPガスの取扱いについて

- ボンベを購入する際は、販売店が実施する取扱い説明に従って、正しく使用する。
- ボンベを設置する際は、直射日光や火気の近くを避け、通気性の良い場所で、人や物が接触しない所を選び、転倒防止のための措置をとる。
- 火気器具の接続するホースは、適切な長さで取り付け、ホースバンドで確実に固定するとともに、劣化によるひび割れや亀裂がある場合は使用しない。
- 緊急時や使用後は、ボンベのバルブを閉める。(時計と同じ右回転)

●調理器具まわりについて

- 調理器具等是不燃性の台などの上で使用し、ダンボールや油などの可燃物は周囲に置かない。
- カセットコンロは、鉄板上を覆ってカセットボンベが過熱するような調理方法をしない。
- ガス臭い時は、使用中の火気はすべて消し、電気器具は操作しない。

●ガソリンの貯蔵・取扱いについて

- 携行缶は、消防法令に適合した金属製容器を使用し、キャップを確実に締める。
- 携行缶は、直射日光や高温となる場所を避け、日蔭で通気性の良いところで保管する。
- ガソリンを取り扱うときは、周囲に火気や火花がないか安全を確認してから取り扱う。
- 発電機等に給油する場合は、エンジンを停止してから行う。
- ガソリン携行缶のキャップを開ける前に、圧力調節ネジで少しずつ圧抜きをする。

●石油ストーブ

- 器具の使用開始時に不具合(異常燃焼等)がないか確認する。
- ストーブの停止を確認してから燃料タンクへ補給する。
- 補給用の灯油は、火気器具の近くに置かない。

●固体を使用する火気器具(七輪)

- 使用中の火の粉の管理をする。
- 周囲にガソリン、灯油等の危険物が近くはないか。可燃物との接触がないかを確認する。
- 使用した炭の処理として消壺等を用意する。

●電気を使用する火気器具(ホットプレート、電子レンジ等)

- コードの被覆が切れ銅線が露出している場合は使用しない。
- 電気コードはたこ足配線にせず、電気機器の容量電流を守る。

●初期消火

- 火気器具の近くに消火器を備える。
- 消火器は容器等に変形やさびがないか確認する。